

12月の都内経済状況

コンサルティング事業部

項目	天気図	コメント
現在の景気動向		12月の都内の景気は、緩やかに回復している。百貨店、スーパー、コンビニエンスストアの売上はいずれも前年を上回った。乗用車販売は3ヵ月ぶりに前年を上回った。住宅着工は4ヵぶりに前年を上回り、公共投資は3ヵ月連続で前年を上回った。輸出は14ヵ月連続で前年を上回った。有効求人倍率は3ヵ月連続で上昇し、企業倒産件数は2ヵ月連続で減少した。工業生産(11月)は2ヵ月連続で前月から低下した。29年度下期の設備投資計画は増加見込みだが、経常損益は減益見込みとなっている(法人企業)。
今後の見通し(3ヵ月)		都内の景気は、引き続き緩やかな回復が期待される。新興国の景気下振れや金融資本市場の変動、アメリカの政策動向、イギリスのEU離脱決定の影響などが今後のリスク要因となっている。
個人消費	百貨店売上高	百貨店売上高は、前年同月比0.7%増と2ヵ月連続で前年を上回ったが、増加幅は前月から2.6ポイント縮小した(既存店ベース)。主要5品目の動向をみると、化粧品などの雑貨は前年を上回ったが、その他の衣料品、身のまわり品、家庭用品、食料品は前年を下回った。
	スーパー売上高	スーパーの売上高は、前年同月比3.7%増と10ヵ月連続で前年を上回り、増加幅も前月から1.1ポイント拡大した(既存店ベース)。台風の影響などによる野菜相場の上昇で農産品の売上が増加し、気温低下で冬物衣料も好調だった。
	コンビニ売上(関東)	関東地区のコンビニエンスストア売上高は、前年同月比1.9%増と58ヵ月連続で前年を上回った(全店ベース)。
	乗用車登録台数	乗用車販売台数(軽を含む)は、前年同月比2.0%増と3ヵ月ぶりに前年を上回った。車種別では、小型車(同▲2.1%)と軽乗用車(同▲10.5%)は、いずれも3ヵ月連続で前年を下回ったが、普通車(同7.9%増)が4ヵ月ぶりに前年を上回った。
住宅建設	住宅着工戸数は、前年同月比13.2%増と4ヵ月ぶりに前年を上回った。利用関係別では、分譲マンション(同▲5.6%)は減少したが、持家(同8.0%増)、分譲一戸建て(同20.4%増)、貸家(同22.5%増)は増加した。	
公共投資	公共工事請負金額は、前年同月比8.2%増と3ヵ月連続で前年を上回り、増加幅も前月から2.4ポイント拡大した。発注者別では、国(同▲4.1%)、市区町村(同▲37.7%)は減少したが、独立行政法人(同164.7%増)、東京都(同61.5%増)、地方公社(同21.0%増)が増加した。	
貿易(東京税関管内)	東京税関管内の輸出額は前年同月比7.3%増と14ヵ月連続で前年を上回ったが、増加幅は前月から8.1ポイント縮小した。主要地域別では、アジアNIEs向け(同▲4.3%)は減少したが、アメリカ向け(同3.7%増)、EU向け(同13.0%増)、中国向け(同18.6%増)、ASEAN向け(同2.4%増)は増加した。	
設備投資(法人企業)	東京財務事務所「法人企業景気予測調査(10~12月期調査)」によると、都内の法人企業(資本金1千万円以上)の29年度下期の設備投資計画額は、全規模が前年同期比11.5%増、大企業が同14.1%増、中堅企業が同▲16.1%、中小企業が同▲36.7%の見込みとなっている。	
企業収益(法人企業)	同上調査によると、都内の法人企業(同上)の29年度下期の経常損益は、全規模が前年同期比▲10.9%、大企業が同▲10.5%、中堅企業が同▲18.3%、中小企業が同5.5%増の見込みとなっている。	
労働需給	有効求人倍率(季調値)は2.15倍と前月から0.03ポイント上昇した。有効求人倍率の上昇は3ヵ月連続。先行指標とされる新規求人数は前年同月比4.7%増と2ヵ月ぶりに前年を上回った。南関東の完全失業率は2.7%で、前月から0.2ポイント低下した。完全失業率の改善は3ヵ月ぶり。	
企業倒産	企業倒産件数は前年同月比▲10.3%と2ヵ月連続で前年を下回ったが、負債総額は同1,402.3%増と2ヵ月連続で前年を上回った。29年通年の倒産件数は同3.5%増で、8年ぶりに前年を上回った。これを業種別に見ると、サービス業(同21.8%増)、情報通信業(同2.6%増)、建設業(同4.4%増)、飲食店・宿泊業(同31.3%増)などが増加し、卸売業(同▲1.1%)、小売業(同▲14.0%)、製造業(同▲10.0%)、不動産業(同▲7.0%)などが減少した。	
資金需要(銀行)	銀行の都内向け貸出残高は前年同月比2.8%増と76ヵ月連続で前年を上回ったが、増加幅は前月から0.2ポイント縮小した。増加幅の縮小は2ヵ月連続。	

工業生産指数(季調値) ()は前年同月比%	工業在庫指数(季調値) ()は前年同月比%	消費者物価指数 ()は前年同月比%	(一〇メモ) 東京都の2018年度予算案
9月 97.2 (0.9)	9月 109.9 (▲5.3)	10月 100.2 (▲0.1)	2018年度一般会計予算原案は、予算規模7兆460億円、前年度比1.3%増と2年ぶりの増加となった。政策経費である一般歳出は、同2.7%増の5兆1,822億円、都税は同2.8%増の5兆2,332億円を見込む。子育て支援や高齢化対策等福祉・保健分野などが増加している。
10月 95.9 (5.5)	10月 108.8 (▲7.3)	11月 100.6 (0.3)	
11月 95.6 (5.5)	11月 110.4 (▲2.2)	12月 100.9 (1.0)	

*工業生産指数・在庫指数は2010年平均=100、消費者物価指数は2015年平均=100。*工業生産指数・在庫指数の前年同月比は、原数値による。

表は、都内経済の最新のデータを集めた当行独自のものです。なお、お天気マークは当部の判断です。

天気図表示の意味						
	晴れ	晴れ時々曇り	薄曇り	曇り	小雨	雨